

Study Group Workshop for Math-for-Industry

期間：2010年10月25-29日

場所：東京大学・大学院数理科学研究科

趣旨：

このワークショップは産業界から提案された問題の数学者による解決を目指すものです。10月25日（全日）と26日（午前）に全体会議として、産業界ならびに関係分野から問題提起がなされ、その後、参加者は各グループに分かれて提示された問題を数理的手法を用いて解決することを問題提案者とともに目指します。

最終日10月29日には、各グループを代表して学生（もしくはポスドク）がその成果を全体会議で報告します。

産業界からの問題の数理的手法による解決のために大学院生、ポスドクが参加し、大学で学んできた知識を実際に活用する機会にするとともに、このような活動によって数学的な能力を一層発展させることも期待されています。

産業界の数学への要請に答える1つの枠組みを提供するとともに、院生らの活動により数学における新たな研究分野を開拓することも目指すこのような形の本格的なスタディグループは日本では例がなく、この度、東京大学・大学院数理科学研究科と九州大学・大学院数理学研究院が積極的な協力連携の下で開催されます。

問題提供者：

佐藤尚宜（㈱日立製作所）

秋山 浩一郎（株式会社 東芝）

C. Pandu Rangan (Indian Institute of Technology)

安生 健一(株式会社オー・エル・エム・デジタル)

J.P. Lewis (Weta Digital Ltd./Victoria University)

中川淳一（新日本製鐵株式會社）

Bob Anderssen (CSIRO)

本間充（花王株式会社）

日高 中（武田薬品工業株式会社）

主 催：

東京大学・大学院数理科学研究科, グローバルCOE プログラム
「数学新展開の研究教育拠点」

九州大学・大学院数理学研究院, グローバルCOEプログラム
「マス・フォア・インダストリ教育研究拠点」

九州大学・特別経費（プロジェクト分）

「大学院数学教育のインターナショナルスタンダードー国際社会がもとめる」
大学院レベル数学教育の構築と展開ー」

九州大学・産業技術数理研究センター(MRIT)

組織委員： 若山正人，福本康秀，金子昌信，落合啓之，佐伯修，高木剛，谷口説男（九州大学），
山本昌宏（東京大学）， 安生健一(株式会社オー・エル・エム・デジタル)

<http://fmi2010.math.kyushu-u.ac.jp/>